

御嶽山の噴火に関する国土交通省の対応状況

1. 初動対応

9月27日に発生し、多くの被害をもたらした御嶽山の噴火に対して、国土交通省では、噴火後直ちに体制をとり、27日14時25分には太田大臣が登庁され、入山者の救助に総力を上げるよう指示される等の初動対応を実施。



噴火の状況(9/29 国土地理院撮影)

2. 救助、下山支援

○リエゾンの派遣

発災当日の9月27日より、中部地方整備局からリエゾンを派遣。以降、リエゾン最大11名を関係県・市町村に派遣。(長野県庁、王滝村、木曾町、岐阜県庁、高山市、下呂市)



リエゾンから王滝村長に報告(9/29)

○TEC-FORCEの派遣

中部地方整備局より被災地に、最大19名、10月10日までに延べ119人・日を派遣し、救助・下山支援や、二次災害防止策を実施中。



TEC-FORCEによる現地調査(10/2)

○9月27日より、照明車により、徒歩下山者および自衛隊等による救助活動の支援を実施。



照明車で下山・救助活動支援(9/27)

- 9月27日より、路面清掃車・散水車により、木曾町の要請を受け、町道の降灰除去を実施。



路面清掃車による降灰除去 (9/28)

- 衛星通信車、Ku-SATにより、ヘリ画像等を通信を実施。
- 救助活動中の土砂災害への警戒
救助活動中の土砂災害に対する注意事項を関係機関に配布し注意喚起を実施 (9/28)。
- 航空情報（ノータム）を発行
救難活動への干渉を避けるための航空情報（ノータム）を発行し注意喚起を実施中。

3. 二次災害防止対策

- 噴火・降灰等の状況調査

発災当日の9月27日より、防災ヘリによる上空調査を実施。以降、国総研・土研より砂防専門家3名を派遣し、上空と地上から、噴火・降灰等の状況把握と二次災害防止対策を検討するための緊急調査を実施中。



降灰状況調査 (9/28)

30日には北川副大臣が現地入りし、被災状況調査及び長野県知事と意見交換を実施。

- 監視カメラとワイヤーセンサー

降雨による土石流を監視するため、長野県と連携のうえ監視カメラとワイヤーセンサーを濁にごり沢川、湯川、冷川、鹿ノ瀬川、白川しらかわに設置し、地元自治体等への緊急連絡体制を確保。(10/4)



監視カメラ設置状況 (10/3)



地元自治体への状況報告

- コンクリートブロック積み砂防堰堤
流域に火山灰が堆積した溪流のうち、砂防堰堤が設置されていない鹿^かの^{せがわ}瀬川に、コンクリートブロック積み砂防堰堤 1 基を緊急的に設置中。

また、長野県において既存の砂防堰堤の除石作業を実施中。



堰堤設置作業に着手 (10/4)

- 土石流に関するシミュレーション

土石流等に対する二次災害防止のため、山頂付近に火山灰が厚く堆積した湯川、白川、濁沢川において、降灰の影響を考慮した土石流に関するシミュレーションを実施。とりまとめ結果を長野県及び地元町村に報告し、公表。(10/3)

- 台風 18 号の影響調査

台風 18 号に伴う降雨による土石流の発生状況等、流域への影響についてヘリコプター及び地上から調査を実施。その結果を長野県及び地元町村に報告し、公表。(10/7)

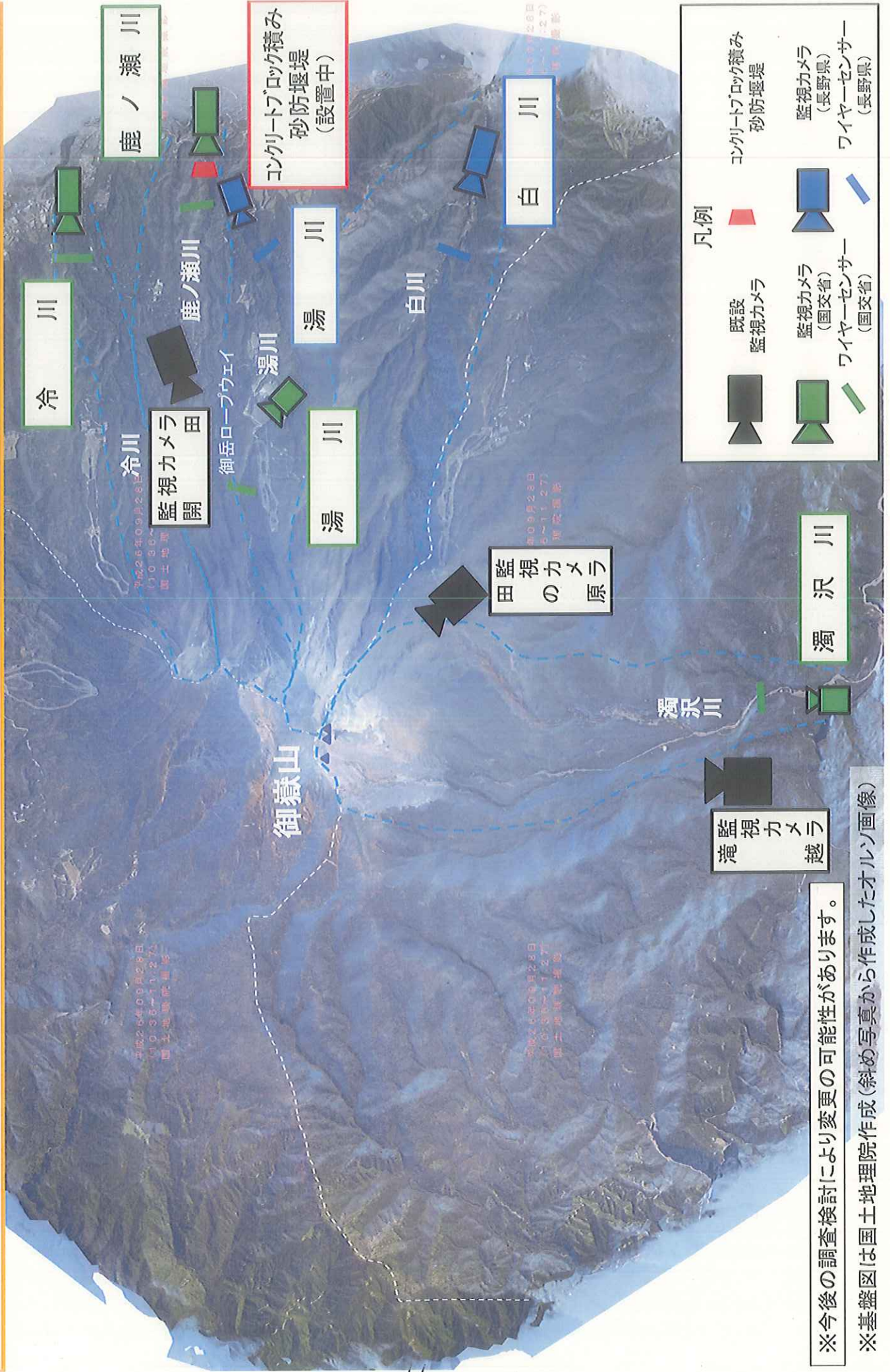
3. その他

- 長野県道 1 路線、木曾町道 4 路線、王滝村道 1 路線で入山規制に伴う通行規制を実施中。
- 御岳ロープウェイ、おんたけ交通バス 3 路線運休中。
- 御嶽山の噴火周辺地域の斜め写真による 3D 動画、SAR 画像から火口位置を推定したものを国土地理院 HP で公開。



SAR 画像(赤丸が推定火口)

二次災害防止に向けた監視体制等



凡例	
既設 監視カメラ	コンクリートブロック積み 砂防堰堤
監視カメラ (国交省)	監視カメラ (長野県)
ワイヤーセンサー (国交省)	ワイヤーセンサー (長野県)

※今後の調査検討により変更の可能性があります。

※基盤図は国土地理院作成(斜め写真から作成したオルソ画像)

御嶽山の噴火による被害状況等について（第17報）

1. 本省及び地方支分部局の体制について

国土交通本省	9月27日	12:36 注意体制			
		13:45 非常体制			
	9月28日	17:00 非常災害対策本部			
関東地方整備局	9月27日	14:00 注意体制	北陸信越運輸局	9月27日	12:50 注意体制
中部地方整備局	9月27日	12:36 警戒体制	中部運輸局	9月27日	15:00 注意体制
		14:45 非常体制			
国土地理院	9月27日	12:36 注意体制	気象庁	9月27日	12:36 警戒体制
		13:45 非常体制			17:00 非常体制

2. 噴火の概要

- ・ 9月27日11時41分頃から火山性微動が発生し始め、同11時52分頃に噴火が発生した。中部地方整備局設置の滝越カメラにより、南側斜面を火砕流が3キロメートルを超えて流れ下るのを観測。噴火警戒レベル3（入山規制）を発表し、火口から4キロメートル以内に立ち入らないように呼びかけ。噴火は現在も継続。
- ・ 御嶽山で噴火が発生したのは2007年（平成19年）3月下旬のごく小規模な噴火以来。
- ・ 9月27日に気象庁が降灰の拡がりについて聞き取り調査を行った結果、御嶽山の西側の岐阜県下呂市萩原町から東側の山梨県甲府市飯田にかけての範囲で降灰が観測されている。
- ・ 9月27日の噴火前から連続して発生している火山性微動は、検知できない程度の大きさになっている（10月10日9時現在）。
- ・ 傾斜計などの観測データに特段の変化はみられない（10月10日9時現在）。
- ・ 噴煙は、10月10日9時現在、火口縁上300メートルで南東に流れている。

【噴火警報の発表状況等】

- 9月27日12:36 噴火警報発表（火口周辺警報）
噴火警戒レベル1（平常） → レベル3（入山規制）
※噴火警戒レベル3は、平成20年3月31日の御嶽山の噴火警戒レベルの運用開始以来初めて。
- 対象市町村等
 - ・ 長野県：王滝村、木曾町
 - ・ 岐阜県：高山市、下呂市
- 防災上の警戒事項
 - ・ 火口から4キロメートル程度の範囲では大きな噴石の飛散や火砕流等に警戒が必要
 - ・ 風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要
 - ・ 爆発的な噴火に伴う大きな空振に注意が必要
- 9月27日13時35分 ~ 降灰予報を約6時間毎に発表し、降灰の予想される地域を図示
- 9月27日16時 ~ 火山の状況に関する解説情報を概ね3時間毎に発表
- 9月28日19時30分 噴火警報（火口周辺警報）を更新し、火砕流に対して警戒を呼びかける

3. 気象の見通し

○御嶽山山頂付近は、今日（10日）09時現在、5メートルの北東の風が吹いているとみられる。今日（10日）は北の風4から7メートル程度。明日（11日）は北の風8メートル程度の見込み。

○今日（10日）は晴れで夜には曇りとなる見込み。明日（11日）は、日中は晴れで朝晩曇りの見込み。

○今日（10日）06時から明日（11日）06時までに雨の予想は無し。

4. 国土交通省の対応

○9/27 14:25大臣防災センター登庁（対策を指示）

○9/27 14:30気象庁記者会見

○9/27 14:40第1回大臣、中部地整局長テレビ会議

○9/27 15:43第2回大臣、中部地整局長テレビ会議

○9/28 10:30御嶽山の火山活動に関する国土交通省関係局長等会議を開催

○9/30 北川国土交通副大臣が現地入り

○政府現地対策本部へ派遣

- ・国土交通本省より1名派遣、中部地方整備局より1名派遣、北陸信越運輸局より2名派遣、北陸信越運輸局長野支局より1名派遣(9/28~10/7)
- ・中部地方整備局より1名派遣、北陸信越運輸局より2名派遣(10/8~10)

○官邸リエゾンを派遣（9/27~10/4）

【救助、下山支援】

○リエゾン（情報連絡員）の派遣

- ・自治体支援（長野県、長野県王滝村、長野県木曾町、岐阜県、岐阜県高山市、岐阜県下呂市）のため最大11名派遣(9/27~10/10)。

○専門家の派遣

- ・国総研、土研より砂防専門家最大3名を派遣（国総研1名：9/27~29、10/2~3、10/5~7）（土研1名：9/27~10/1、1名：9/27~10/3、1名：10/5~7）（噴火・降灰の状況把握と二次災害防止対策の検討・助言するため）

○災害対策用機械等出動状況（10月10日10:00現在）

整備局名	出動先	出動理由	機械名	台数	状況	期間
中部地整	長野県木曾郡王滝村八海山	入山規制支援	照明車	1	稼働後待機中	10月7日~
中部地整	長野県木曾郡木曾町（木曾維持出張所）	降灰清掃	路面清掃車	1	待機中	10月1日~
中部地整	長野県木曾郡大滝村（松原スポーツ公園）	捜索活動支援（ヘリポート）	散水車	1	稼働中	10月7日~
中部地整	長野県木曾郡木曾町開田高原西野（鹿ノ瀬川現場）	砂防堰堤設置作業	分解組立型遠隔操作式バックホウ	1	稼働中	10月6日~
中部地整	長野県木曾郡王滝村八海山	入山規制支援	衛星通信車	1	稼働中	9月29日~
中部地整	長野県木曾郡王滝村濁川	土石流監視	Ku-SAT	1	稼働中	10月2日~
中部地整	名古屋大学地震火山緊急センター	映像配信	Ku-SAT	1	稼働中	10月2日~
中部地整	長野県木曾郡木曾町役場	映像配信	Ku-SAT	1	稼働中	10月3日~

※災害対策用機械等最大16台派遣。

- ・9/27より照明車両5台が徒歩下山者および自衛隊等入山の支援のため稼働。
- ・木曾町の要請を受け、町道の降灰除去作業を中部地整の路面清掃車3台、散水車2台で実施。町道鹿ノ瀬線の降灰除去は4:20作業完了。

【二次災害防止対策】

○9月28日、土砂災害防止法に基づく緊急調査に着手。

○TEG-FORCEの派遣

- ・救助・下山支援および被災状況把握、応急対策実施等のため最大19名派遣(9/27～10/10)。

○防災ヘリコプターによる被害状況調査(10月10日10:00時点)

- ・中部地方整備局防災ヘリコプターによる御嶽山上空からの調査を実施(9/27 15:20～)。山頂南西側大きく開いた3カ所の噴火口、山頂付近に厚さ50cmの降灰を確認。
- ・中部地方整備局防災ヘリコプターによる御嶽山上空からの降灰状況調査を実施(9/28:2回、9/29:1回、9/30:1回)。
- ・関東地方整備局防災ヘリコプターによる御嶽山上空からの降灰状況調査を実施(9/30)。
- ・中部地方整備局防災ヘリコプターによる御嶽山上空から台風第18号に伴う降雨後の被災状況調査を実施(10/7)。

○地上における状況調査

- ・地上より降灰状況調査を実施。UAV(無人ヘリ)を用いて立入規制区域を含めて調査を実施(9/29)。

○関係自治体等への情報提供

- ・関係する県、市町村、関係機関等に、今後の注意事項をとりまとめた「救助活動等における土砂災害への警戒について」を配布し、救助関係機関が活用。
- ・関係自治体に対して、「御嶽山周辺地域における今後の降雨に対する土砂災害に関する注意事項」の情報提供を実施。
- ・御嶽山における降灰後の土石流に関するシミュレーション結果を、長野県、木曾町、王滝村に情報提供実施。(10/3)
- ・関係自治体に対して、ヘリコプター及び地上からの調査による台風18号に伴う降雨後の溪流状況の情報提供を実施。(10/7)

○今後の応急対策に資する備蓄資材(大型土のう袋等)を確保済み。

○監視カメラとワイヤーセンサー設置状況

河川名	監視カメラ	ワイヤーセンサー	機関名
湯川	10月7日 設置完了	10月9日 設置完了	国土交通省
	10月2日 設置完了	10月2日 設置完了	長野県
白川	10月3日 設置完了	10月2日 設置完了	長野県
濁沢川	10月2日 設置完了	10月3日 設置完了	国土交通省
冷川	10月2日 設置完了	10月3日 設置完了	国土交通省
鹿ノ瀬川	10月2日 設置完了	10月4日 設置完了	国土交通省

○砂防堰堤設置

- ・流域に火山灰が堆積した溪流のうち、砂防堰堤が設置されていない鹿ノ瀬川に、コンクリートブロック積堰堤1基(4tブロック使用)を設置中(10/2～)

【その他】

○長野県道1路線で噴火による通行規制を9月27日14:20から実施中

上記の外に、町道鹿ノ瀬線、屋敷野線、千本松線、寒原倉越線、村道41号線について噴火による通行規制中

○9月28日19:05 防衛省と調整し、「9月28日19時05分から追って通知するまで、全ての有視界飛行方式で飛行する航空機は、救難活動への干渉を避けるため、御嶽山の半径5NM(約9.3km)以内、地上から11,000ft(約3,400m)までの範囲で他の航空機に特に注意すること」を内容とする航空情報(ノータム)を発行(9月28日11:51に発行した航空情報を更新)。

○気象庁発表の火山灰情報に基づき、火山灰の影響する高度、移動方向等に関する航空情報(ノータム)を9月27日12:21に発行。以降、継続して発行(65通目10月10日9:14)。

5. 気象庁の対応

○御嶽山の火山活動状況について、御嶽山周辺の地震計、空振計、傾斜計、遠望カメラ等の観測ネットワークにより、24時間体制で監視中。

○噴火警報等を発表するとともに、地元自治体をはじめ、関係機関に対する解説及び資料の提供を各地気象台より適宜実施。

○気象庁機動調査班(JMA-MOT)を現地に派遣して、噴火の状況や降灰の状況、火山ガスの観測等の調査を実施(長野地方気象台:9月27日13時55分~、気象庁:9月27日15時40分)

○降灰の拡がりについて気象台から自治体等への聞き取り調査を実施(9月27日~)

○火山活動状況に関して記者会見(9月27日14時30分)

○御嶽山山頂部における救助活動の実施にあたっての留意事項について長野・岐阜両県等関係機関に周知(9月27日)。

○長野県の災害対策本部会議に出席(9月27日~)

○長野県、岐阜県、各県内関係市町村及び地方整備局等の関係機関に対して、気象情報(御嶽山上空の風と周辺の天気予想)を提供(9月28日5時~ 1日2回、10月1日5時~ 1日3回の提供)

○国土交通省中部地方整備局のへりに同乗し、上空から御嶽山の火山活動の状況を確認(9月28日午前)

○陸上自衛隊のへりに同乗し、上空から御嶽山の火山活動の状況を確認(9月28日午後)

○気象庁機動調査班により火山ガス観測等を実施(9月28日)

○火山噴火予知連絡会拡大幹事会を開催し、統一見解を公表(9月28日)

○政府の現地対策本部に東京管区気象台気象防災部長他3名を派遣(9月28日~)

○王滝大又(長野県木曾郡王滝村)に臨時雨量観測所を設置(10月3日)

○航空自衛隊のへりに同乗し、上空から御嶽山の火山活動の状況を確認(10月7日午前、9日午前)

6. 国土地理院の対応

・御嶽山の被害状況把握のため、空中写真撮影準備中(9月27日)

・御嶽山の噴火周辺地域の空中写真撮影を実施(9月28日、10月7日)

・御嶽山の噴火周辺地域の空中写真を関係機関へ提供(9月28日、10月7日)

・御嶽山の噴火周辺地域の空中写真および正射画像をホームページで公開(9月28日)

・御嶽山の噴火周辺地域の空中写真撮影および航空機SAR観測を実施(9月29日)

・28,29日撮影の斜め写真による3D動画をホームページで公開(9月29日)

・政府の現地対策本部に職員1名を派遣(9月29日~)

・御嶽山の噴火周辺地域の航空機SAR観測を実施(9月29,30日)

・29,30日に観測したSAR画像から推定した火口位置とSAR画像をホームページで公開(9月30日)

・人工衛星(だいち2号)データを用いて御嶽山の地表変化を面的に把握しホームページで公表(10月3日)

URL : <http://www.gsi.go.jp/BOUSAI/h26-ontake-index.html>

7. 一般被害の状況

・人的被害

死者55名（警察庁（10月9日14:30現在）

負傷者69人（長野県59名、岐阜県10名）（消防庁（10月9日13:30現在）

※長野県の負傷者59名は、病院に收容された負傷者数。

行方不明者：8名（長野県御嶽山噴火災害対策本部）

※行方不明者数は、お問い合わせの情報等を基に集計したものであり、今後も変動することがある。

8. 所管施設等の状況

○土砂災害

●土砂災害発生状況（10月10日10:00現在）

土石流等

都道府県名	市町村名	人的被害			人家被害					
		死者	行方不明者	負傷者	全壊	半壊	一部損壊			
長野県	1件	王滝村	1件							
合計	1件									

●土砂災害警戒情報の発表状況及び土砂災害に関わる避難勧告等の状況（10月10日10:00現在）

- ・土砂災害警戒情報の発表なし。

○鉄道関係（10月10日10:00現在）

- ・9月27日 12時55分より御岳ロープウェイは運転休止

○自動車関係（10月10日10:00現在）

【御遺体搬送関係】

長野県からの要請により、長野県トラック協会、全国霊柩自動車協会が以下のとおり対応（御遺体搬送のための延べ車両数54両（9月28日～））

- ・10月9日 御遺体の搬送のための車両（1両）手配

【バス関係】

- ・おんたけ交通 バス3路線運休中

○河川、管理ダム、道路、海事関係、港湾関係、航空関係、物流関係、下水道、公園、宅地、公営住宅関連等、官庁施設、観光関係については現時点で被害情報なし（10月10日10:00現在）

問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 佐々木
代表：03-5253-8111 内線35-822
直通：03-5253-8461